



## 2025年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月30日

上場会社名 日本プロセス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9651 URL <https://www.jpdc.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 智  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括 (氏名) 坂巻 詳浩 TEL 03-4531-2111  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年5月期第1四半期の連結業績（2024年6月1日～2024年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第1四半期	2,389	6.2	226	4.4	322	40.0	226	37.8
2024年5月期第1四半期	2,250	8.3	216	△0.3	230	△1.9	164	△3.3

(注) 包括利益 2025年5月期第1四半期 304百万円 (62.8%) 2024年5月期第1四半期 187百万円 (0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第1四半期	23.46	—
2024年5月期第1四半期	17.05	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期第1四半期	12,163	10,567	86.9
2024年5月期	12,803	10,456	81.7

(参考) 自己資本 2025年5月期第1四半期 10,567百万円 2024年5月期 10,456百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2025年5月期	—	—	—	—	—
2025年5月期（予想）	—	26.00	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,780	5.3	480	3.8	575	20.7	410	20.4	42.38
通期	10,000	5.6	1,000	4.6	1,060	5.1	755	3.4	78.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年5月期1Q	10,645,020株	2024年5月期	10,645,020株
② 期末自己株式数	2025年5月期1Q	973,552株	2024年5月期	973,242株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年5月期1Q	9,671,652株	2024年5月期1Q	9,659,405株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなど緩やかな回復の動きが継続しました。しかしながら、欧米の高金利水準の継続や中国経済の先行き懸念などによる海外景気の下振れ、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動などが、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

情報サービス産業におきましては、業務効率化や生産性向上、新しい働き方を目的としたデジタルトランスフォーメーション（DX）など、情報通信技術（ICT）活用の意欲は引き続き高く、企業の競争力強化に向けたAI、IoT、クラウドサービスの活用にも積極的な姿勢が見られるなど、IT投資は堅調に推移するものと見込まれます。

こうした環境の中、当社は、「ソフトウェアで社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する」を中期経営ビジョンとする新たな中期経営計画（2024年6月～2027年5月）を策定し、2027年5月期時点で連結売上高120億円以上、連結営業利益12億円以上、ROE8.0%以上を中期経営目標として取組んでまいります。

事業活動については、「トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス（T-SES<sup>※1</sup>）のレベルを上げて注力分野を拡大する」を基本方針とし、人材育成による新規設計能力、見積能力、マネジメント能力の向上や、T-SESのトータル度向上により生産性を高め、新規設計案件や大規模案件の受注を増やすことで事業規模拡大を目指します。

注力事業、注力分野については、社会インフラのDXへ注力します。当社が考える社会インフラのDXは、保守性、拡張性が高く、サイバーセキュリティが備わった先進的なシステムへ転換することです。社会インフラの「セキュア」で「スマート」なプラットフォームへの変革に貢献し、IoTやクラウド、AIなどの最新の技術を備えた新たなシステム開発に注力いたします。なお今中計期間では、自動運転/先進運転支援関連、ガバメントクラウドなどのクラウドシステム、航空宇宙・危機管理関連での規模拡大を図ります。

持続的成長への施策として、人的投資については3期連続の賃上げを実施し社員への還元と優秀な人材の獲得に向けた採用競争力の維持・強化を図るとともに、事業規模の拡大を見据えた新卒・中途採用の強化も進めております。また、資格取得報奨金制度の拡充の他、戦略的技術習得と従業員の自律的なスキルアップに向け、全従業員が利用できるオンライン学習プラットフォームを導入しております。

株主還元については、当期より配当方針を「安定的な配当の継続と連結配当性向66%を目標とする」とし、還元率を連結配当性向概ね50%から66%に引き上げております。この結果、2025年5月期年間配当金は14円増配し、1株当たり52円（6期連続の増配）とする予定です。なお今中計期間は累進配当政策を実施します。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,389百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は226百万円（前年同期比4.4%増）、経常利益は保険解約返戻金等が発生したことにより322百万円（前年同期比40.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は226百万円（前年同期比37.8%増）となりました。

※1 T-SES：当社が保有する知見に基づいて、顧客（またはエンドユーザ）を正しい仕様決定に導き、以降一貫して完成まで請け負うこと。（当社の造語）

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメント	売上高				セグメント利益			
	前期	今期	増減額	前年同期比	前期	今期	増減額	前年同期比
制御システム	338	362	23	7.1%	73	87	14	19.5%
自動車システム	552	590	38	6.9%	142	144	1	1.3%
特定情報システム	297	391	93	31.4%	44	71	27	61.3%
組込システム	347	325	△21	△6.3%	88	51	△36	△41.2%
産業・ICT ソリューション	713	719	5	0.8%	116	132	15	13.7%
合計	2,250	2,389	139	6.2%	464	487	23	5.0%

## (制御システム)

制御システムでは、発電所監視制御システムは受注量の増加により堅調に推移しました。在来線の運行管理システムは更新案件の受注やAI案件への参画により売上利益とも好調に推移し、新幹線の運行管理システムは一部案件が完了するも横ばいで推移しました。東京圏輸送管理システムは受注が堅調であるものの検収は第2四半期以降となりました。

この結果、売上高は362百万円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益は87百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

## (自動車システム)

自動車システムでは、自動運転/先進運転支援関連は複数の車種一括受注により新規案件の獲得や担当範囲を拡大するなど売上は好調に推移しました。車載情報関連は新たな案件を獲得するなど堅調に推移し、電動化関連は開発規模縮小に伴い売上利益ともに減少しました。

この結果、売上高は590百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は144百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

## (特定情報システム)

特定情報システムでは、衛星画像関連は受注量の増加により好調に推移しました。危機管理関連は今期より大型案件が開始したことで売上利益とも大幅に増加しました。航空宇宙関連は一部案件がテストフェーズに入り体制を縮小しました。

この結果、売上高は391百万円（前年同期比31.4%増）、セグメント利益は71百万円（前年同期比61.3%増）となりました。

## (組込システム)

組込システムでは、半導体市場低迷の影響によりストレージデバイス開発は体制を縮小し、新ストレージ開発は開発終了となりました。なお半導体市場はこのところ回復の兆しが見えつつあります。IoT建設機械関連は開発量が増加し体制を拡大したことで好調に推移しました。

この結果、売上高は325百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント利益は51百万円（前年同期比41.2%減）となりました。

## (産業・ICTソリューション)

産業・ICTソリューションでは、クラウド関連のクラウドシステムは新規顧客の開拓や既存顧客からの新たな案件の獲得により好調に推移し、IoTクラウドは横ばいで推移しました。社会インフラ関連の駅務機器開発は前期より開始した開発案件により体制を拡大しました。道路設備関連は保守フェーズとなり体制を縮小しました。

この結果、売上高は719百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は132百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて639百万円減少して、12,163百万円となりました。この主な要因は、賞与支給及び法人税等の支払いに伴い現金及び預金が減少したことによります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて750百万円減少して、1,595百万円となりました。この主な要因は、賞与支給及び法人税等の支払いが行われた結果、賞与引当金及び未払法人税等が減少したことによります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて111百万円増加して、10,567百万円となりました。この主な要因は、配当金支払いにより利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと及びその他有価証券評価差額金が増加したことによります。この結果、自己資本比率は、86.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2024年7月9日公表の2025年5月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,582,033	3,855,723
受取手形、売掛金及び契約資産	2,525,238	2,488,078
電子記録債権	1,218,665	1,620,798
有価証券	799,926	549,937
仕掛品	62,770	103,763
その他	116,903	158,291
流動資産合計	9,305,538	8,776,592
固定資産		
有形固定資産	194,834	187,624
無形固定資産	26,561	25,195
投資その他の資産		
投資有価証券	2,644,430	2,686,161
その他	631,682	488,204
投資その他の資産合計	3,276,112	3,174,366
固定資産合計	3,497,508	3,387,186
資産合計	12,803,046	12,163,779
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	158,060	158,637
未払法人税等	212,113	110,851
賞与引当金	1,399,382	464,325
その他の引当金	44,828	18,712
その他	485,067	810,256
流動負債合計	2,299,451	1,562,781
固定負債		
長期末払金	46,894	32,899
その他	166	166
固定負債合計	47,060	33,065
負債合計	2,346,512	1,595,847
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,274,634	2,274,634
利益剰余金	6,802,963	6,836,418
自己株式	△609,070	△609,207
株主資本合計	9,955,937	9,989,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	441,878	506,136
為替換算調整勘定	58,718	72,540
その他の包括利益累計額合計	500,596	578,676
純資産合計	10,456,534	10,567,932
負債純資産合計	12,803,046	12,163,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
売上高	2,250,243	2,389,721
売上原価	1,784,972	1,909,459
売上総利益	465,270	480,261
販売費及び一般管理費	248,316	253,707
営業利益	216,954	226,553
営業外収益		
受取利息	2,716	4,218
受取配当金	11,963	14,511
保険解約返戻金	375	84,471
その他	1,761	394
営業外収益合計	16,817	103,595
営業外費用		
障害者雇用納付金	150	150
為替差損	2,561	7,686
その他	934	77
営業外費用合計	3,646	7,914
経常利益	230,126	322,235
特別利益		
固定資産売却益	1,052	—
特別利益合計	1,052	—
特別損失		
固定資産除却損	1,137	792
特別損失合計	1,137	792
税金等調整前四半期純利益	230,041	321,442
法人税等	65,380	94,552
四半期純利益	164,660	226,890
親会社株主に帰属する四半期純利益	164,660	226,890

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
四半期純利益	164,660	226,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,572	64,258
為替換算調整勘定	6,066	13,821
その他の包括利益合計	22,638	78,080
四半期包括利益	187,299	304,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,299	304,970



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自2023年6月1日至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・ICTソリューション	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	338,421	552,248	297,757	347,870	713,946	2,250,243
外部顧客への売上高	338,421	552,248	297,757	347,870	713,946	2,250,243
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	338,421	552,248	297,757	347,870	713,946	2,250,243
セグメント利益	73,237	142,370	44,613	88,226	116,289	464,737

	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高		
顧客との契約から生じる収益	—	2,250,243
外部顧客への売上高	—	2,250,243
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,250,243
セグメント利益	△247,783	216,954

(注) 1. セグメント利益の調整額△247,783千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△248,316千円及びその他533千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自2024年6月1日至2024年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・ICTソリューション	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	362,360	590,318	391,382	325,981	719,678	2,389,721
外部顧客への売上高	362,360	590,318	391,382	325,981	719,678	2,389,721
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	362,360	590,318	391,382	325,981	719,678	2,389,721
セグメント利益	87,482	144,203	71,952	51,879	132,272	487,790

	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高		
顧客との契約から生じる収益	—	2,389,721
外部顧客への売上高	—	2,389,721
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,389,721
セグメント利益	△261,236	226,553

(注) 1. セグメント利益の調整額△261,236千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△253,707千円及びその他△7,529千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	14,121千円	10,517千円